

北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 9 号 (通巻 No.262)

2008 年 7 月 18 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

平成 20 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間 : 平成 20 年 8 月 ~ 12 月

対象海域 : 日本海

対象魚群 : 主に秋季発生系群

1. 道北・道央海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量 : 昨年を上回り近年平均並み。

(2) 漁期・漁場 : 概ね対象期間を通じて形成。

(3) 魚体の大きさ : 前半は近年平均より小さい。

2. 道南・津軽海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量 : 昨年および近年平均を上回る。

(2) 漁期・漁場 : 12 月は昨年を下回る。

(3) 魚体の大きさ : 前半は近年平均より小さい。

近年平均 : は最近 5 年間 (2003 ~ 2007 年) の平均を示す。

日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果では、北海道海域への来遊量 (尾数) は昨年を上回っていました。しかし、魚体が小型中心であったため、6 月の漁獲量 (重量) は昨年を下回りました。

よって、今漁期の前半は、来遊量 (尾数) としては昨年を上回りますが、魚体が小さい状態で推移すると思われます。道南・津軽海域の 12 月では昨年好漁でしたが、今年はそれを下回ると考えられます。

漁期後半については、まだ変動する可能性があります。今後の動向にご注意下さい。

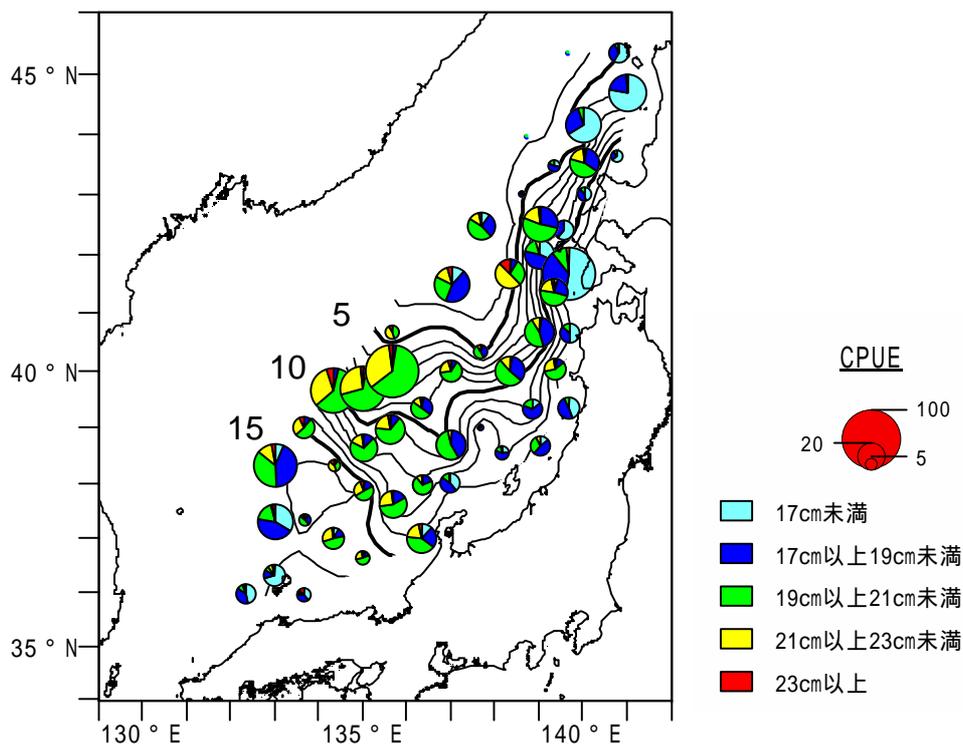


図1 日本海におけるスルメイカの分布状況

の面積は各調査点の分布密度の指標となる CPUE（釣機 1 台 1 時間あたりの採集個体数）を示し、中の配色は各外套背長範囲の比率を示す。水深 50m の水温分布も示した。

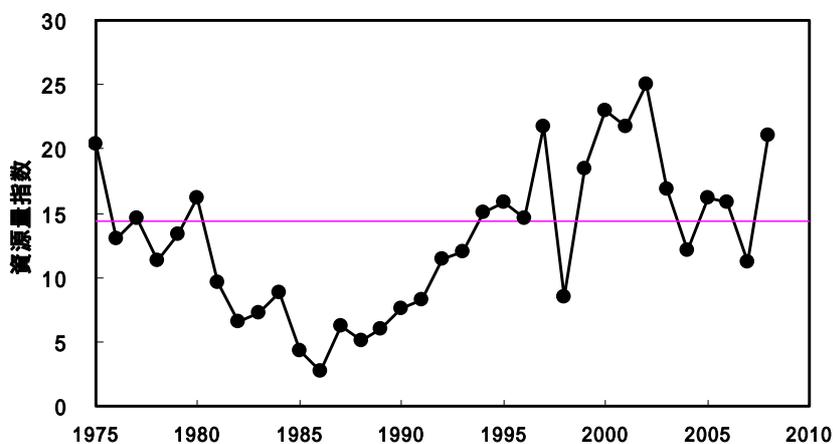


図2 スルメイカの資源量指数の変化

全調査点の平均 CPUE を資源量指数としている。
細線は近年（2003～2007年）の平均（14.43 個体）

注）図の元データは平成 20 年度第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報会議資料（独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ）より

（文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709）